

科目名		授業形態	担当教員名	
機能性構音障害		講義	平口 昌広	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
話し言葉の産生に関わる構造・機能を理解する。 機能性構音障害の評価、診断および指導に関する理論と技術を理解する。				
授業の到達目標				
構音を正確に聞き取り、記録できる。 機能性構音障害の鑑別診断、症状が説明できる。 指導の方策を実行する手順を演習的に修得する。				
授業計画				
回	内容			
1	機能性構音障害についての概要を説明できる			
2	発声発語器官の発生と機能解剖について簡単に説明できる			
3	正常構音の動態について理解できる（母音・子音）			
4	日本語音の音声表記ができる（IPA）			
5	構音検査前に行うことを理解できる			
6	構音検査の実施方法について理解できる			
7	異常構音について理解できる			
8	発達途上で見られる音の誤りを理解できる			
9	構音検査を実施できる			
10	構音評価について理解できる			
11	構音指導法について理解できる①（音別の指導法）			
12	構音指導法について理解できる②（子音）			
13	構音指導法について理解できる③（異常構音）			
14	いろいろな構音訓練を知る			
15	家族指導、まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
言語聴覚療法シリーズ 改訂 機能性構音障害	本間慎治		建帛社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
目で見る日本語音の産生（DVD）	山本一郎・藤原百合		EPG研究会	
自由記載				
備考				